産業の振興と仕事の 創出を図るまちづくり

商工業の振興では、

若者を町へ定着させるための事業を実 を設立し、町内企業への関心を高め、 業教育連携協議会(北桜高校CT

人が集まり地域が活力 にあふれるまちづくり

では、 グホリデー く伝えました。 地域協力体制を強化しま 横浜市の物産展出展やワ の実施など、 した。



し、農業経営の合理化を推進しました。

農業の振興では、地域農業のあり方

おおむね順

北桜高校で行われた企業説明会

評価:おおむね順

や支援を通じ魅力向上を図り

まし

内会長などとの連携会議を新たに実施 関係人口の創出と移住・定住の支援 町民主役のまちづくりの推 これまでの取り組みに加え、| これまでの取り組みに加え、| 町の魅力を広



7月に開催された多世代交流フェスティバル

元気で健やかに暮らせるまちづくり

体制を整え、

ービスを提供できました。

ありますが、

数値目

評価:おおむね順調

将来を担う人材を育む まちづくり 一

評価・おおむね 生涯学習分野では、図書館において

主要業務に加え、幅広い分野でのイベ り一層図られました。 者の確保に努めるとともに、 ントなどの実施により、 県立北桜高校の支援では、 レット の作成を補助 利用促進がよ 各種補助 中学生向



消防士の仕事を体験した地域おこし事業

さらなる支援が必要となっています。 団体の会員数が伸び悩んでいるため、 参加した一方で、 どを通じ、保存管理に多様な担い手が 御所野遺跡においては、 イベント

評価:

おおむね順



鳥海地区で行われた認知症見守り声かけ訓練

歴史や文化を活かすま ちづくり

を契機に維持管理体制の構築が図られ 旧朴舘家住宅の保存修理工事 新たなボランティア



御所野愛護少年団による学習成果の発表

Interview

きます。

③みんなが安心でき、これからも

を引き出しているまち

暮らし続けたいと思うまち

②みんなが自然や文化がもつ魅力

①みんなが生き生きと繋がって賑

令和6年度の取り組みの全体評価

わいをつくり出してい

るまち

【基本理念】 れています。 に見直す

『基本計画』と毎年度見

令和6年度評価は、6つの目標すべてでおおむね順調

な評価となり、計画どおりに進んでいます。一方で、人

口減少に伴う影響が、福祉や商工観光業など幅広い分野 で顕著となっており、対策が急務となっているため、若 者のUターンや定住を促す施策として奨学金返還免除の

本評価により、取組における効果や課題を明確にし、 デジタル技術の活用などの新たな手法も取り入れなが

ら、持続可能なまちづくりに向け、取り組みを進めてい

拡充などさまざまな施策を検討したところです。

『実施計画』

に基づき進めら

で構成されています。

具体的な取り組みは、

4年ごと

を6つの章で定めた『基本目標』

構想』は、

およそ30年後に実現し

戸町総合計画

 \mathcal{O}

戸町総合計画とは

町では、

令和5年度から令和8年度までの具体的な取り組みを定める

の取り組みを

ま

についてお知らせします

『後期計画』

を策定しました。

ここでは計画達成に向けた令和6年度の取り組み実績や進展

『一戸町総合計画後期計画』

い町の姿を描いた『基本理念』

それを実現するための方向性



- 戸町総合計画審議会 会長 潤 今井 教授 (岩手大学 研究支援・産学連携セ ンター 副センター長)

明るく活発な町のため、 槓極的な活動

度評価を実施し、 口減少は急速に進んでいくこ 見られます。 価いたしました。 目標全てがおおむね順調と評 後期基本計画の令和6年 移住関連で良い成果が 町総合計画審議会で 6つの基本 特に教育・

行政と町民が一体となり、 続可能なまちづくりを推進す ることを期待いたします 参加が不可欠です。引き続き、 させるためには、

んの積極的な地域活動へのご とが予想されます。 明るく活発な一戸町を持続 町民の皆さ 持

詳しい内容は、下記QRコードか ら、町ホームページに記載の実績評

☎33-4851 内線1214

価報告書をご覧ください。

生活しやすい環境が充 実するまちづくり

評価: おおむね

めて

いきます。

効果的な事業展開を目指し、

訓練などの実施により デジタル化による拡声局の増設や防災 安心な生活の実現では、防災行政無線 高い住戸稼働率を維持し、 の定住に一定の成果を上げています。 また、 住宅の整備では、子育て支援住宅は 消防・防災体制の充実、 います。 計画どおり 子育て世帯 安全



地域の防災意識を高めた一戸町消防団出初式

第6次一戸町総合計画後期基本計画